

特集 2

台風・大雨から身を守りましょう!

集めよう! 防災情報

災害対策をする上で、**情報収集**はとても大切です。テレビやラジオで放送される災害に関する全般的な情報を確認するほか、**携帯電話**などを使って、いち早く情報を入手しましょう。横浜市からも情報発信しています。



情報収集の手段(避難情報などをいち早くお届けします)

ホームページ

横浜市の防災に関するあらゆる情報が確認できます

●横浜市Webサイト(防災・災害)

災害時の緊急情報や、日頃の備えである自動・共助・公助の取組について掲載しています。

横浜市 防災・災害 検索

●横浜市防災情報ポータル

避難指示の状況や避難所の開設状況を掲載しています。

横浜市 防災情報ポータル 検索

メール

避難情報などをいち早くお届けします。

●横浜市防災情報Eメール

避難指示や津波警報の発表などの防災緊急情報を携帯電話・パソコン向けにEメールで配信するサービスを行っています。下記二次元コードやメールアドレスへ空メールを送信してください。登録案内メールが届きます。

bousai-yokohama@cousmail-entry.cous.jp

横浜市 防災情報Eメール 検索

アプリ

自分に必要な防災情報を必要な時に確認することができます

●横浜市避難ナビアプリ

マイ・タイムラインの作成から避難所検索、災害時の避難情報の受信などができます。ぜひご活用ください!!

横浜市避難ナビ 検索



●ハザードマップ表示・エリア毎のハザードを把握
●避難所検索・ルート案内

実際の災害に備えましょう

マイ・タイムラインとは

大雨や台風による水害などの災害に対し、家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した**自分自身の避難行動計画**のことです。作成シートは区役所で配布しているほか、上記の「横浜市避難ナビ」でも作成することができます。

横浜 マイ・タイムライン 検索

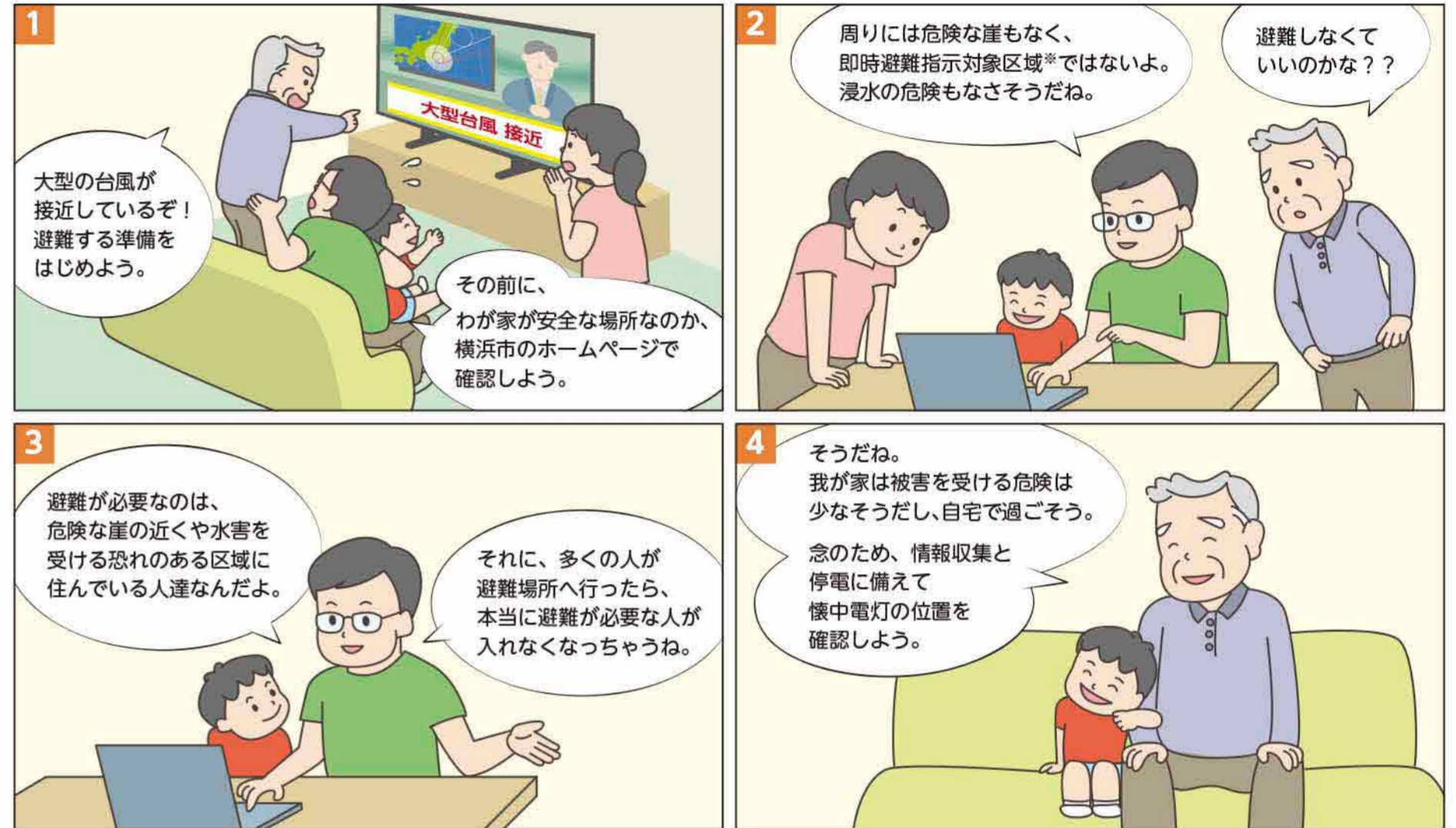
近年、台風やゲリラ豪雨などによる被害が多発しており、磯子区でもいつどこで災害が発生してもおかしくありません。特にこれから秋にかけての出水期は、風雨による被害が発生しやすくなります。台風・大雨から身を守るため、事前の備えや避難行動について確認しましょう。

この特集に関する問合せ
危機管理担当

☎750-2312 fax750-2530

在宅避難の勧め

避難場所への避難が必要となるのは、事前にお知らせしている「**即時避難指示対象区域***」にお住まいの人や、ご自宅や周辺区域で災害が発生または発生危険が高まっている区域にお住まいの人です。ご自宅や周辺区域の安全が確認できれば、無理に避難せず、ご自宅で過ごしましょう。



※即時避難指示対象区域とは

「土砂災害警戒情報」の発表とともに避難指示を一齐に発令する区域を即時避難指示対象区域といいます。土砂災害発生危険を考慮し、区内の複数の区域を指定しています。対象区域にお住まいの人へは毎年6月頃にお知らせをポスティングしています。ご自宅が指定区域なのか、確認しておきましょう。



土砂災害警戒情報発表(南部)に伴い、「避難指示」が発令された場合

即時避難指示対象区域にお住まいの人

どうする?

指定されている避難場所へ避難開始

横浜市は、土砂災害警戒情報(南部)が発表された場合、即時避難指示対象区域にお住まいの人々に「避難指示」を発令しています。

即時避難指示対象区域以外にお住まいの人

どうする?

在宅避難

ご自宅や周辺地域に差し迫った危険が確認されない場合は、ご自宅で過ごしましょう。
※危険が確認された場合は、避難を開始してください。

「指定されている避難場所」や「自宅」以外への安全な場所への避難

親戚や友人のお家

宿泊施設など

「指定されている避難場所」や「自宅」での避難に限らず、左記のような場所への避難も選択肢の一つです。日頃から、さまざまな状況を想定して、身の安全を図りましょう。

指定されている避難場所

- 根岸地区センター
- 浜中学校(コミュニティハウス)
- 岡村中学校(コミュニティハウス)
- 洋光台第四小学校(コミュニティハウス)
- 浜小学校(コミュニティハウス)
- さわの里小学校(ランチルーム)

夜間や休日などは、避難場所開設までに時間を要することが想定されます。最新の避難場所開設状況は、「横浜市避難ナビ」や本市webサイトなどでご確認ください(左ページ参照)。



物資や食料の備蓄

台風などの接近時は、物資や食料を外出して確保することは、大変危険です。日頃から備蓄しておきましょう。

一昼夜過ごすために必要なものを選びましょう。

